

第1号議案

令和元年度（第40期）事業報告書

1. 総務関係

1-1 会員状況

特別会員	113社・団体（136口）
正会員	944名
学生会員	95名

1-2 社員総会

令和元年度（第40期）定時社員総会

[日時] 令和元年5月24日（金）13:00～14:00

[場所] 堂島リバーフォーラム 2階 202・203会議室

[出席者] 101名（内委任状79名）

[議事] (1) 平成30年度（第39期）事業報告書承認 (4) 令和元年度（第40期）事業計画
(2) 平成30年度（第39期）決算報告書承認 (5) 令和元年度（第40期）予算
(3) 平成30年度（第39期）監査報告書承認 (6) 令和元年度（第40期）役員選任

[議長] 森 俊介

1-3 表彰

令和元年度表彰式

[日時] 令和元年8月5日（月）14:00～14:20

[場所] 東京大学 駒場Iキャンパス 900番教室（講堂）

[出席者] 58名

第8回学会賞

[選考結果発表] 浅野 浩志

*該当なし

第8回学会貢献賞

[選考結果発表] 浅野 浩志

*該当なし

第7回茅賞（表彰1件）

[選考結果発表] 下田 吉之

*（業績）「自治体スケールのエネルギービジョンを対象としたフューチャー・デザイン」
（受賞者）木下 裕介（東京大学）

第7回学生発表賞（表彰3件）

[選考結果発表] 下田 吉之

*（業績）「自然変動電源の予測誤差を考慮した電気自動車の充放電制御による系統柔軟性の経済性評価」
（受賞者）吉岡 七海（東京大学）

*（業績）「エネルギー部門を詳細化した動学的多部門エネルギー経済モデルの開発と
日本における最適電源運用の検討」

（受賞者）磯貝 基（東京大学）

*（業績）「PVシステムの火災・飛散に対するリスク評価の検討」

（受賞者）小林 樹（筑波大学）

第15回論文賞（表彰1件）

[選考結果発表] 藤井 康正

*（業績）「経済性・環境性・レジリエンス性を考慮した分散型電源機器
導入量決定のための多目的最適化ツールの開発」

（受賞者）上道 茜，八木 正彰，山崎 由大，金子 成彦（東京大学）

1-4 理事会（学会賞・学会貢献賞選考委員会）、総務委員会

第1回理事会

[日 時] 平成31年4月24日（水）
[場 所] 電力中央研究所
[出席者] 9名
[座 長] 森 俊介

臨時理事会

[日 時] 令和元年5月24日（金）
[場 所] 堂島リバーフォーラム
[出席者] 12名
[座 長] 浅野 浩志

第2回理事会

[日 時] 令和元年10月15日（火）
[場 所] 電力中央研究所
[出席者] 10名
[座 長] 浅野 浩志

第3回理事会

[日 時] 令和2年3月17日（火）
[場 所] 電力中央研究所
[出席者] 10名
[座 長] 浅野 浩志

第1回総務委員会

[日 時] 平成31年4月5日（金）
[場 所] 関西電力(株)本店
[出席者] 10名
[座 長] 花田 敏城

第2回総務委員会

[日 時] 令和元年10月18日（金）
[場 所] (株)竹中工務店
[出席者] 9名
[座 長] 花田 敏城

第3回総務委員会

[日 時] 令和元年11月28日（木）
[場 所] (株)構造計画研究所大阪支社
[出席者] 8名
[座 長] 花田 敏城

第4回総務委員会

[日 時] 令和2年2月27日（木）
[場 所] (株)NTTファシリティーズ関西事業本部
[出席者] 10名
[座 長] 花田 敏城

(註) 第9回学会賞・第9回学会貢献賞は、第3回理事会にて選考した。

2. 企画関係

2-1 講演会

第38回エネルギー・資源学会研究発表会特別講演会

[日 時] 令和元年8月5日（月）14：30～16：45
[場 所] 東京大学 駒場 I キャンパス 900番教室（講堂）
[参加者] 103名
[次 第] *会長挨拶
*特別講演
1. 「科学技術社会論からみた資源・エネルギー問題」
2. 「都市交通の課題とMAAS」
[司 会] 下田 吉之（大阪大学）

東京大学 藤垣 裕子
横浜国立大学 中村 文彦

第36回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス特別講演会

[日 時] 令和2年1月28日（火）16：20～17：30
[場 所] 東京大学 生産技術研究所 S棟1階プレゼンテーションルーム
[参加者] 101名
[次 第] *会長挨拶
*特別講演
「エネルギーシステムの強靱性に向けた気象リスクマネジメント」
～気象リスク管理を通じてエネルギー事業での同時同量 安定供給の支援のために～
(株)ウェザーニューズ 安部 大介
[司 会] 下田 吉之（大阪大学）

2-2 講習会

第1回講習会

[日 時] 令和2年1月21日（火）13：00～17：20
[場 所] (株)構造計画研究所 本所新館 地下1F レクチャールーム
[参加者] 38名
[テーマ] 「パリ協定長期戦略と2050年のエネルギー」
[次 第] 1. ～エネルギーポリシーの確立のために～今後必須のイノベーションを予測する
持続性推進機構 安井 至
東京大学 小宮山涼一
2. 電力システムにおける課題と2050年の電力需給

3. 2050年に向けた運輸部門の変化の可能性：政策、技術、シナリオ、モデル
地球環境産業技術研究機構 魏 啓為
大阪大学 下田 吉之
4. 民生部門詳細分析による低炭素化の可能性評価
5. 気候変動対策と国際標準化－GHGアカウンティングから適応・金融分野への展開
日本エネルギー経済研究所 工藤 拓毅
- [モデレーター] 黒沢 厚志 (エネルギー総合工学研究所)

第2回講習会 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催延期)

- [日 時] 令和2年3月16日(月) 13:20~17:00
[場 所] (株)構造計画研究所 本所新館 地下1F レクチャールーム
[共 催] 研究プロジェクト「スマートエネルギーシステムに関する調査研究」調査委員会
[テーマ] 「スマートエネルギーシステムに関するアメリカ調査成果報告」

2-3 研究会・見学会

第1回研究会 (見学会併催)

- [日 時] 令和元年6月3日(月) 13:15~17:15
[場 所] 一般財団法人電力中央研究所 横須賀地区
[参加者] 19名
[テーマ] 「電力の安定供給とエネルギーの低炭素化に向けた電力技術開発の最前線」
[コーディネーター] 西田 亮一 (大阪ガス(株))

第2回研究会 (見学会併催)

- [日 時] 令和元年8月22日(木)~23日(金)
[場 所] *東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
*東京電力ホールディングス(株)福島第二原子力発電所
*東京電力廃炉資料館
*福島ロボットテストフィールド
*浪江町棚田産業団地・福島水素エネルギー研究フィールド
*日本原子力研究開発機構櫛葉遠隔技術開発センター 等
[参加者] 27名
[テーマ] 「福島第一原子力発電の廃炉と浜通りの復興に向けた取り組み等に関する視察」
[コーディネーター] 工藤 拓毅 (日本エネルギー経済研究所)
※エネルギー施設の災害・安全対策研究会と合同開催

第3回研究会 (見学会併催)

- [日 時] 令和元年11月11日(月) 12:00~17:30
[場 所] 西名古屋火力発電所
みなとアクルス・プロ厨房オイシス
[参加者] 21名
[テーマ] 「世界最高効率のコンバインドサイクル発電と先進のスマートタウン“みなとアクルス”」
[コーディネーター] 田中 宏幸 (中部電力(株))、水谷 安伸 (東邦ガス(株))

第4回研究会 (見学会併催)

- [日 時] 令和2年2月20日(木) 10:30~18:10
[場 所] 大崎クールジェン(株)
[参加者] 17名
[テーマ] 「世界初、石炭ガス化燃料電池複合発電の実証試験
—石炭火力発電の高効率化とCO₂回収によるCO₂排出量の削減—」
[コーディネーター] 長谷川友安 (関西電力(株))

2-4 研究発表会

第38回エネルギー・資源学会研究発表会

- [日 時] 令和元年8月5日(月)~6日(火)
[場 所] 東京大学 駒場 I キャンパス 21KOMCEE East K211~214
[発表時間] 1件20分(講演15分、討論5分)
[発表件数] 109件
[参加者] 5日145名, 6日138名

第36回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス

- [日 時] 令和2年1月28日(火)~29日(水)
[場 所] 東京大学 生産技術研究所 As棟・An棟
[共 催] 電力中央研究所、日本エネルギー経済研究所、エネルギー総合工学研究所、地球環境産業技術研究機構、
コージェネレーション・エネルギー高度利用センター
[後 援] 新エネルギー・産業技術総合開発機構

[協 賛] 化学工学会、日本原子力学会、日本エネルギー学会、(株)三菱総合研究所、電気学会、日本機械学会、
日本シミュレーション学会、公益事業学会、日本エレクトロヒートセンター
[発表時間] 1件20分(講演15分、討論5分)
[発表件数] 140件
[参加者] 28日187名、29日176名

2-5 研究プロジェクト

研究プロジェクト「スマートエネルギーシステムに関する調査研究」

*第2期(後半)平成31年4月1日～令和2年3月31日
*調査委員会を年間6回(施設見学5回、講演会1回)、報告書作成ワークショップ1回およびアメリカ調査を実施し、
最終報告書の作成を行った。
*最終報告書(「スマートエネルギーシステム—再生可能エネルギー主力化を支える次世代エネルギーマネジメント
技術—」B5版270頁、令和2年7月刊行予定)
委員長 : 浅野 浩志(電力中央研究所、岐阜大学、東京大学、東京工業大学)
副委員長 : 下田 吉之(大阪大学)、菅 敏昭(関西電力(株))、矢加部久孝(東京ガス(株))
アドバイザー : 鈴置 保雄(愛知工業大学)、山地 憲治(地球環境産業技術研究機構)
委員 : 20名

2-6 海外調査

スマートエネルギーシステムに関するアメリカ調査団

*同上研究プロジェクトメンバーを中心としたアメリカ調査団を編成し、派遣した。
[日 程] 令和元年9月22日(日)～29日(日)
[団 長] 浅野 浩志(電力中央研究所、岐阜大学、東京大学、東京工業大学)
[副団長] 下田 吉之(大阪大学)、菅 敏昭(関西電力(株))、矢加部久孝(東京ガス(株))
[参加者] 10名
[訪問先] 1. UC Davis
2. SMUD; サクラメント電力公社
3. SDG&E
4. UC Irvine

2-7 研究部会

オータムワークショップ2019

[日 時] 令和元年11月16日(土)
[場 所] 東京大学 本郷キャンパス 工学部2号館3階 会議室1 (33A)
[協 賛] 環境経済・政策学会、空気調和・衛生工学会、省エネルギーセンター、電気学会東京支部、
日本エネルギー学会、日本オペレーションズ・リサーチ学会
[参加者] 30名
[テーマ] 「デジタル化から期待される新たな電力ビジネスとは」
[世話人] 松橋 隆治(東京大学)
[代表幹事] 藤野 純一(地球環境戦略研究機関)
[幹 事] 井上 智弘(科学技術振興機構)、井上 麻衣((株)リバネス)、上道 茜(東京農工大学)、
小澤 暁人(産業技術総合研究所)、白木 裕斗(滋賀県立大学)、杉山 昌広(東京大学)、
鈴木 研悟(筑波大学)、永井 雄宇(電力中央研究所)、藤澤 星((株)フジサワ)、
古林 敬顕(秋田大学)、山口 容平(大阪大学)、渡邊裕美子((株)Loop)

2-8 懇話会

第1回エネルギー政策懇話会

[日 時] 令和元年5月24日(金) 14:40～17:00(懇話会)、17:00～18:30(交流会)
[場 所] 堂島リバーフォーラム
[参加者] 48名
[テーマ] 「電力ネットワークの新たな展開」
[話題提供者] 1. 西村 陽(大阪大学/関西電力(株))
2. 田中 謙司(東京大学)
[司 会] 小杉 隆信(立命館大学)、長谷川友安(関西電力(株))

第2回エネルギー政策懇話会

[日 時] 令和元年7月19日(金) 15:00～17:30(懇話会)、17:30～19:00(交流会)
[場 所] 東京ガス(株)本社会議室
[参加者] 32名
[テーマ] 「データサイエンスのエネルギー事業への展開可能性」

- [話題提供者] 1. 岡村 智仁 (大阪ガス(株))
2. 大関 崇 (産業技術総合研究所)
3. 廣瀬 慧 (九州大学)
- [司 会] 松橋 隆治 (東京大学)、田村 雅之 (東京ガス(株))

第3回エネルギー政策懇話会

- [日 時] 令和元年9月24日 (火) 15:00~17:00 (懇話会)、17:00~18:30 (交流会)
[場 所] 東桜会館
[参加者] 34名
[テーマ] 「低炭素な水素サプライチェーンの構築に向けた技術動向と認証制度」
[話題提供者] 1. 飯田 重樹 (エネルギー総合工学研究所)
2. 鈴置 保雄 (愛知工業大学)
3. 国立 将光 (愛知県)
- [司 会] 加藤 丈佳 (名古屋大学)、水谷 安伸 (東邦ガス(株))

第4回エネルギー政策懇話会

- [日 時] 令和元年11月18日 (月) 15:00~17:00 (懇話会)、17:00~18:30 (交流会)
[場 所] (株)構造計画研究所 本所新館
[参加者] 30名
[テーマ] 「ネガティブエミッション技術とジオエンジニアリング」
[話題提供者] 1. 加藤 悦史 (エネルギー総合工学研究所)
2. 杉山 昌広 (東京大学)
- [司 会] 前田 章 (東京大学)、伊野 慎二 ((株)構造計画研究所)

第5回エネルギー政策懇話会

- [日 時] 令和2年1月22日 (水) 15:00~17:00 (懇話会)、17:00~18:30 (交流会)
[場 所] 中央電気倶楽部
[参加者] 30名
[テーマ] 「脱炭素化に向けたCCUS技術」
[話題提供者] 1. 富永 和也 (経済産業省資源エネルギー庁)
2. 杉田 啓介 (地球環境産業技術研究機構)
- [司 会] 秋元 圭吾 (地球環境産業技術研究機構)、西田 亮一 (大阪ガス(株))

第6回エネルギー政策懇話会

- [日 時] 令和2年2月26日 (水) 10:00~12:00 (懇話会)、12:00~13:30 (交流会)
[場 所] グランパークプラザ
[参加者] 24名
[テーマ] 「電気自動車の戦略的な国際展開をどうみるか」
[話題提供者] 1. 李 志東 (長岡技術科学大学)
2. 武埴 朋子 (日産自動車(株))
- [司 会] 小川 芳樹 (東洋大学)、田口 泰啓 ((株)NTTファシリティーズ)

2-9 エネルギー施設の災害・安全対策研究会

エネルギー施設の災害・安全対策研究会

- [日 時] 令和元年8月22日 (木) ~23日 (金)
[場 所] *東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
*東京電力ホールディングス(株)福島第二原子力発電所
*東京電力廃炉資料館
*福島ロボットテストフィールド
*浪江町棚塩産業団地・福島水素エネルギー研究フィールド
*日本原子力研究開発機構櫛葉遠隔技術開発センター 等
- [参加者] 27名
[テーマ] 「福島第一原子力発電の廃炉と浜通りの復興に向けた取り組み等に関する視察」
[コーディネーター] 工藤 拓毅 (日本エネルギー経済研究所)
※第2回研究会 (見学会併催) と合同開催

2-10 研究委員会

「2050年に向けた日本のエネルギー需給」研究委員会

- *我が国の温室効果ガス低減に向けた長期発展戦略の策定のための情報整理と議論に併せて、長期的なエネルギー需給の道筋に関する調査・検討を行い、その成果を学会会員、学会外に対し提供するため、第38回エネルギー・資源学会研究発表会並びに第36回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンスにおいて企画セッションを開催、また第1回シンポジウムを開催した。

「2050年に向けた日本のエネルギー需給」研究委員会シンポジウム

[日 時] 令和元年8月21日(水) 13:00~17:40
[場 所] 東京大学生産技術研究所An棟2階 コンベンションホール
[主 催] エネルギー・資源学会「2050年に向けた日本のエネルギー需給」研究委員会
東京大学 生産技術研究所 エネルギーシステムインテグレーション 社会連携部門 (ESI)
[共 催] 東京大学 先端電力エネルギー・環境技術教育研究センター (APET)
東京大学 エネルギー・資源フロンティアセンター (FRCER)
東京大学 生産技術研究所 持続型エネルギー・材料統合研究センター
[参加者] 190名
[テーマ] 「温室効果ガス低減に向けた長期発展戦略の策定のための情報と視点の整理と方法論」

家庭部門のCO2排出実態統計調査利用研究会

*家庭 CO2統計の調査票を共有し、それぞれの研究領域から多様な視点で分析し、意見交換や議論をすすめ、その成果を学会会員、学会外に対し広く提供した。

2-11 エネルギー検定

*日本エネルギー学会と共同企画により、WEB上でエネルギー検定を進めた。

2-12 共催行事

第56回日本伝熱シンポジウム

[日 時] 令和元年5月29日(水)~31日(金)
[場 所] あわぎんホール徳島県郷土文化会館
[主 催] 日本伝熱学会

日本学術会議公開シンポジウム

[日 時] 令和元年6月6日(木)
[場 所] 日本学術会議 講堂
[主 催] 日本学術会議 総合工学委員会
エネルギーと科学技術に関する分科会

第57回燃焼シンポジウム

[日 時] 令和元年11月20日(水)~22日(金)
[場 所] 札幌コンベンションセンター
[主 催] 日本燃焼学会

原子力総合シンポジウム2019

[日 時] 令和元年12月2日(月)
[場 所] 日本学術会議講堂
[主 催] 日本学術会議総合工学委員会

2-13 企画実行委員会(茅賞・学生発表賞選考委員会)

第1回企画実行委員会

[日 時] 令和元年5月28日(火)
[場 所] 電力中央研究所
[出席者] 18名
[座 長] 下田 吉之

第2回企画実行委員会

[日 時] 令和元年8月28日(水)
[場 所] 電力中央研究所
[出席者] 18名
[座 長] 下田 吉之

第3回企画実行委員会

[日 時] 令和元年10月7日(月)
[場 所] 電力中央研究所
[出席者] 15名
[座 長] 下田 吉之

第4回企画実行委員会

[日 時] 令和元年12月3日(火)
[場 所] 電力中央研究所
[出席者] 14名
[座 長] 下田 吉之

第5回企画実行委員会

[日 時] 令和2年2月17日(月)
[場 所] アーバネックス備後町ビル
[出席者] 12名
[座 長] 下田 吉之

(註) 第2回、第5回企画実行委員会は、茅賞・学生発表賞選考委員会(座長:下田 吉之)を併催。

3. 編集関係

3-1 会誌「エネルギー・資源」の刊行

通巻235号(5月号)

令和元年5月10日刊行(本文73頁)

【特集】進展するCCS技術と今後の展望

- | | | |
|--|-------------------|-------|
| (1) 地球温暖化対策におけるCCSへの期待と取り巻く状況 | 経済産業省 | 岡島 拓郎 |
| (2) CO ₂ 排出削減に向けた研究開発の動向 | 新エネルギー・産業技術総合開発機構 | 布川 信 |
| (3) CO ₂ 地中貯留技術開発の動向 | 地球環境産業技術研究機構 | 薛 自求 |
| (4) 苫小牧におけるCCS大規模実証試験事業の現況について | 日本CCS調査(株) | 田中 豊 |
| (5) 化学吸収法によるCO ₂ 分離・回収技術の開発状況 | 関西電力(株) | 中神 保秀 |
| (6) 海外におけるCCSプロジェクトの動向 | グローバルCCSインスティテュート | 南坊 博司 |
| | 〃 | 村上 泰郎 |
| (7) CO ₂ 地中貯留(CCS)と社会受容 | 産業技術総合研究所 | 田中 敦子 |

【特集】急速進展する日本の電力システム改革の進捗と展望

- | | | |
|--------------------------------|--------------|-------|
| (1) 電力システム改革の概要と取り巻く状況 | 一橋大学 | 山内 弘隆 |
| (2) ベースロード市場の意義と課題 | 電力中央研究所 | 服部 徹 |
| (3) 連系線利用ルールの見直しと展望 | 横浜国立大学 | 大山 力 |
| (4) 容量市場の概要と展望 | 日本エネルギー経済研究所 | 小笠原潤一 |
| (5) 需給調整市場の概要と展望 | 日本エネルギー経済研究所 | 永富 悠 |
| (6) 非化石価値取引市場の現状と展望 | 電力中央研究所 | 朝野 賢司 |
| (7) 電気料金の経過措置撤廃：概要と展望 | 東京大学 | 大橋 弘 |
| (8) 再生可能エネルギー大量導入時代の電力市場の課題と展望 | 東京大学 | 荻本 和彦 |

【特集】建築物(非住宅)の省エネルギー施策と最新の技術動向

- | | | |
|--|---------------|-------|
| (1) 建築物の省エネルギー施策 (総括) | 国土交通省 | 高梨 潤 |
| | 経済産業省 | 粟津 浩介 |
| (2) 建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律の一部を改正する法律について | 国土交通省 | 高梨 潤 |
| (3) ZEB普及に向けた国内外の動向 | ペタリリビング | 新倉 隆宏 |
| (4) BELS (建築物省エネルギー性能表示制度) の概要について | 住宅性能評価・表示協会 | 宇治田裕子 |
| (5) 建築物の総合環境性能評価システム「CASBEE」 | 建築環境・省エネルギー機構 | 早津 隆史 |
| (6) 外皮性能の向上と自然エネルギーの利用 | 東京大学 | 清家 剛 |
| (7) ヒューマンファクターを考慮した空調システムの省エネ・快適性技術 | 立命館大学 | 近本 智行 |
| (8) LED×照明制御×照明ソフトによる照明システムの省エネルギー | パナソニック(株) | 岩井 彌 |

【特集】日本のエネルギー関連技術イノベーション戦略(その1)

- | | | |
|--|-----------|-------|
| (1) STI (Science, Technology and Innovation) 構想とSTS (Science, Technology and Sustainability) 構想の調和：協創的競争の場を創るために | 青山学院大学 | 菊池 純一 |
| (2) エネルギー・リソース・アグリゲーション・ビジネス (ERAB) の取り組み | 早稲田大学 | 石井 英雄 |
| (3) 次世代技術を活用した新たな電力プラットフォーム | 大阪大学 | 西村 陽 |
| (4) 日本型オープンイノベーションによる次世代パワーエレクトロニクス技術開発 | 産業技術総合研究所 | 奥村 元 |
| (5) スマートモビリティの動向に関する一考察 | 横浜国立大学 | 中村 文彦 |
| (6) 再生可能エネルギーの貯蔵・輸送のための水素技術 | 産業技術総合研究所 | 坂西 欣也 |

【特集】エネルギー・資源の未来展望(随想)

- | | | |
|---|--------------------------|---------------------|
| (1) 都市鉱山 金属リサイクルが拓く持続可能な社会づくり | サステナビリティ技術設計機構 | 原田 幸明 |
| (2) CCSとCCU-脱炭素社会を目指すために | 九州大学 | 赤井 誠 |
| (3) 資源情勢と資源経済学 | 秋田大学 | 安達 毅 |
| (4) 国連気候変動交渉 -成果と今後の課題- | 東京大学 | 有馬 純 |
| (5) 全国の自治体における持続可能な開発目標 (SDGs) の取り組み | 法政大学 | 川久保 俊 |
| (6) 石油危機に遭遇し、我が人生は太陽光発電へ | 東京農工大学 | 黒川 浩助 |
| (7) 水素を利用する地産地消エネルギーシステム | 東北大学 | 河野 龍興 |
| (8) 熱エネルギー雑感 | 電力中央研究所 | 齋川 路之 |
| (9) 低・脱炭素社会に向けたメタネーションの意義 | 日本エネルギー経済研究所 | 柴田 善朗 |
| (10) 脱炭素のまちづくりに向けて | (株)竹中工務店 | 山下 正純 |
| (11) エネルギー関連の学術の展望 | 大阪大学 | 下田 吉之 |
| (12) 「金融3原則」が拓くサステナブルファイナンスの時代 国連環境計画・金融イニシアティブ | 東京大学 | 末吉竹二郎 |
| (13) エネルギー技術イノベーションと科学的エビデンス | 東京大学 | 杉山 昌広 |
| (14) エネルギーと資源に係わるSocial Equityの重要性 | 九州大学 Andrew John Chapman | Andrew John Chapman |
| (15) エネルギー・資源・環境システムの複合領域研究再考 | 京都大学 | 手塚 哲央 |
| (16) 非化石燃料の燃焼が支える未来社会 | 大阪大学 | 中塚 記章 |
| | 〃 | 赤松 史光 |
| (17) 地球上の貴重な資源 | 関西電力(株) | 花田 敏城 |
| (18) 狭すぎる空間で暮らしていく人間へ -産業連関分析の視点から- | 慶應義塾大学 | 早見 均 |
| (19) 化学工学におけるSDGs達成への取り組み -効率性から充足性へ- | 東京大学 | 平尾 雅彦 |
| (20) 家庭用燃料電池の商品化と将来展望 | 九州大学 | 本田 國昭 |
| (21) エネルギー・資源におけるバイオマスとしての食品からの考察 | 帝塚山学院大学 | 宮武 和孝 |
| (22) エネルギーよもやま話 | 三菱日立パワーシステムズ(株) | 山内 康弘 |

【新春座談会】学会創立40周年を迎えて -歴代会長による座談会-

- | | |
|----------------|-------|
| 日本エレクトロヒートセンター | 内山 洋司 |
| 愛知工業大学 | 鈴置 保雄 |
| 科学技術振興機構 | 森 俊介 |
| (司会) 電力中央研究所 | 浅野 浩志 |

【特集】日本のエネルギー関連技術イノベーション戦略 (その2)

- | | | |
|-----------------------------------|------------------|-------|
| (1) イノベーション志向プロジェクトとマネジメントのあり方 | 東京工業大学 | 岡崎 健 |
| (2) 自動車における内燃機関の高効率化とその役割に関する将来展望 | 早稲田大学 | 大聖 泰弘 |
| (3) 宇宙太陽光発電システムの長期に亘る研究開発の進め方 | 宇宙航空研究開発機構 | 牧野 克省 |
| | | 相馬央令子 |
| (4) 砂層型メタンハイドレート資源開発のR&D | 石油天然ガス・金属鉱物資源機構 | 山本 晃司 |
| | 産業技術総合研究所 | 天満 則夫 |
| | 日本メタンハイドレート調査(株) | 阿部 正憲 |
| (5) 次世代鉄道システムを創る超電導技術 | 鉄道総合技術研究所 | 富田 優 |
| (6) 終章：これからの科学技術・イノベーション政策にむけて | 科学技術振興機構 | 森 俊介 |

【シリーズ特集】**明日を支える資源 (165)**

<連載：それぞれの国の資源問題②>

Assessing the Socio-economic and Environmental Impacts of Mining in an Emerging Democracy: The Case of Myanmar
(新興民主主義国家における鉱業部門の社会・経済・環境影響評価：ミャンマーを例として)

クイーンズランド大学 Paul Rogers

" Peter Erskine

明日を支える資源 (166)

<連載：それぞれの国の資源問題③>

Rwanda's Political Settlement: A Good Foundation for Inclusive Development from Mining?

(ルワンダにおける政治的な安定：鉱業からの包括的発展に向けた望ましい基盤となりえるか?)

クイーンズランド大学 Fitsum Weldegiorgis

" Kathryn Sturman

明日を支える資源 (167)

<連載：それぞれの国の資源問題④>

日本における素材系資源問題の今

東京大学 村上 進亮

明日を支える資源 (168)

<連載：それぞれの国の資源問題⑤>

Overview of Botswana Mining Industry and Its Impact (ボツワナ鉱業の概要とそのインパクト)

ボツワナ大学 Kegomoditswe Koitsiwe

秋田大学 安達 毅

明日を支える資源 (169)

<連載：オリンピックと資源①>

金の価値とその資源有効利用

東京大学 村上 進亮

*通巻239号 (1月号) より会誌の表紙デザインを公募によりリニューアルした。

3-2 会誌・論文誌のWEB掲載

*会誌は、通巻235号～240号の本文を本会HP「会員専用ページ」に公開した。

*採択された研究論文29件は、J-STAGE (科学技術振興機構 (JST) の電子ジャーナル出版プラットフォーム「科学技術情報発信・流通総合システム」) の「エネルギー・資源学会論文誌」に公開し、会誌には和文アブストラクトのみを掲載した。

*電子ジャーナル化後の研究論文バックナンバーのJ-STAGEへのアップロードを完了した。

*電子ジャーナル化以前の研究論文バックナンバーをパスワードなしで会員外でも閲覧できるように本会HPに掲載した。

3-3 編集実行委員会 (査読委員会、論文賞選考委員会)**第1回編集実行委員会**

[日 時] 平成31年4月12日 (金)

[場 所] 堂島リバーフォーラム

[出席者] 18名

[座 長] 手塚 哲央

第2回編集実行委員会

[日 時] 令和元年6月12日 (水)

[場 所] 電力中央研究所

[出席者] 24名

[座 長] 藤井 康正

第3回編集実行委員会

[日 時] 令和元年8月2日 (金)

[場 所] アーバネックス備後町ビル

[出席者] 20名

[座 長] 藤井 康正

第4回編集実行委員会

[日 時] 令和元年10月10日 (木)

[場 所] 電力中央研究所

[出席者] 18名

[座 長] 藤井 康正

第5回編集実行委員会

[日 時] 令和元年12月16日 (月)

[場 所] (株)竹中工務店

[出席者] 22名

[座 長] 藤井 康正

第6回編集実行委員会

[日 時] 令和2年2月20日 (木)

[場 所] 電力中央研究所

[出席者] 19名

[座 長] 藤井 康正

(註1) 編集実行委員会の前半に査読委員会 (座長：永田 豊) を毎回開催。

(註2) 第3回、第5回、第6回編集実行委員会は、論文賞選考委員会 (座長：岡島 敬一) を併催。